

ふくおが

7月



ふくおか県酪農業協同組合 令和2年



令和2年度ふくおか県酪農業協同組合通常総会

組合トピックス	1~6	コラム	8~9
MOMOステーション	7	色色問答	10

ふくおか県酪農業協同組合 令和二年度通常総会を開催！

去る六月二十四日(木)「筑紫野市文化会館」において、ふくおか県酪農業協同組合の令和二年度通常総会が開催されました。

今回も、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、組合員の皆様には可能な限り出席をご遠慮いただき、書面議決書での意思表示をお願いしました。また来賓の方にも、ご列席をご遠慮いただき、最小限の人数での総会開催となりました。

冒頭、草場哲治組合長の挨拶のあと、議長には近松善洋氏(福岡支所)を選任し、第一号議案から第七号議案が上程され、いずれも原案通り承認されました。

さて、令和二年度は「新型コロナウイルス感染症」の拡大のため、これまでの生活様式が一変した一年となりました。東京開催のオリンピックも延期となる等あらゆる社会経済活動が制限を受けました。

酪農乳業を振り返りますと、三月からは「全国一斉休校」による学校給食の中止、四月には「緊急事態宣言」での外出自粛が要求され、業務用牛乳・乳製品の需要減、更に入国制限等のためインバウンド需要も見込めない状況になりました。一方、一斉休校によって需給緩和の影響を受ける、生産者と乳業者の負担を軽減する国の緊急対策事業が措置され、販売乳価の下落分が差額補填され実質の生産者乳価としては現行を維持し、処理不可能乳の発生も回避する事ができました。

県下酪農も、長引くコロナ禍の影響などのため特に不需要期の受給調整が不安視されましたが、結果としては指定団体と乳業者等の協力により年間を通して順調な販売となったことから、プール乳価も昨年に引き続き上昇しました。しかし、乳用初任牛価格の高騰や飼料価格も値上げ基調

で推移する中、高齢化等による酪農経営からの離脱と乳牛飼養頭数の減少等が組合の事業実績に大きな影響を与えました。

このような状況の中、酪農が将来に向けて持続できるように、生乳生産基盤の維持・拡大と酪農活性化への取組みを更に強化しなければなりません。また、緊急に取り組むべき多くの課題に直面しておりますが、組合員の負託に応えるべく、各事業への取組み推進と併せて、専任指導員と乳牛診療所体制の充実と、関係機関連携による指導体制の強化に努めてまいります。

第五次三カ年計画の二年目となる今年の計画については、これまで以上に厳しい状況下での計画となりますが「福岡県酪農ビジョン」に掲げた目標に向かい、酪農を取り巻く情勢の変化に対応できる足腰の強い酪農経営を目指し、酪農基盤の維持強化のための事業に取り組みで参ります。

役員一同、酪農の発展に寄与できるように、業務に邁進して参りますので、今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



財務・事業実績

区分	項目	令和元年度	令和2年度
財務	事業利益 (千円)	13,457	12,049
	経営利益 (千円)	20,008	17,938
	当期剰余金 (千円)	17,608	22,438
	自己資本比率 (%)	41.64	42.00
販売	受託販売乳量 (トン)	74,064	72,256
	生乳販売高 (千円)	8,236,870	8,064,681
購買	購買品供給量 (トン)	48,520	47,261
	購買品供給高 (千円)	3,223,669	3,163,677

令和二年度 乳質優良者七十二名受賞

令和二年度より乳質優良者表彰規定を変更し、年間の加重平均値の配点方法から月二回の定期検査値の配点積上げ方式により審査を行いました。基準を満たされた七十二名の方から、最優秀賞には、久留米支所の江上正生さんが昨年に引き続き受賞され、優秀賞には、福岡支所の松永慎也さん、野田貞治さん、飯塚支所の森下団蔵さん、久留米支所の安丸英宏さん、優良賞には六十七名の方が受賞されました。

また、特別賞（10年連続ノーペナルティ）として、久留米支所の中村博之さん、岩下寿秀が受賞されました。（乳質優良表彰者：表1のとおり）

今年も昨年に引き続きコロナウィルス感染症予防のため、組合総会後の表彰式を中止とさせていただきますでしたが、受賞者の方には、賞状及び賞品併せて全酪連、全畜連、北九州くみあい飼料からの副賞を御贈りいたしました。

引き続き「食の安心・安全」へ向けた、なお一層の乳質向上への取り組みをお願いいたします。

表1：令和二年度乳質優良表彰者一覧表

ふくおか県酪農業協同組合

NO.	支所名	組合員略名	表彰	配点	連続回数	NO.	支所名	組合員略名	表彰	配点	連続回数
1	久留米	江上 正生	最優秀賞	2,335	14	37	久留米	中島 清	優良賞	2,030	1
2	福岡	松永 慎也	優秀賞	2,325	9	38	飯塚	中村 秀貴	優良賞	2,000	8
3	福岡	野田 貞治	優秀賞	2,305	4	39	福岡	波多江 正好	優良賞	2,000	3
4	飯塚	森下 団蔵	優秀賞	2,285	3	40	久留米	佐野 喬	優良賞	1,990	3
5	久留米	安丸 英宏	優秀賞	2,280	5	41	久留米	高良 和幸	優良賞	1,990	1
6	飯塚	原田 政博	優良賞	2,245	14	42	福岡	濱地 邦夫	優良賞	1,985	3
7	福岡	藤井 正剛	優良賞	2,230	7	43	久留米	森光 力	優良賞	1,980	5
8	福岡	有田 徹	優良賞	2,210	5	44	飯塚	穂坂 精樹	優良賞	1,980	2
9	久留米	末継 正勝	優良賞	2,190	2	45	福岡	田中 和久	優良賞	1,970	8
10	福岡	森田 純一郎	優良賞	2,180	8	46	久留米	中園 尚寿	優良賞	1,970	1
11	久留米	坂井 彰	優良賞	2,175	5	47	久留米	木庭 健一	優良賞	1,965	9
12	飯塚	濱崎 留久	優良賞	2,175	1	48	飯塚	神崎 宏昭	優良賞	1,960	3
13	久留米	池松 和幸	優良賞	2,170	4	49	久留米	田中 信義	優良賞	1,960	2
14	久留米	秋吉 信義	優良賞	2,155	2	50	久留米	堀田 孝春	優良賞	1,945	1
15	飯塚	竹本 貞敏	優良賞	2,145	8	51	久留米	中野 実夫	優良賞	1,945	1
16	福岡	鶴田 昇	優良賞	2,145	1	52	福岡	高田牧場	優良賞	1,920	2
17	飯塚	江藤 秀樹	優良賞	2,125	4	53	久留米	カクタファーム	優良賞	1,915	1
18	飯塚	大村 義徳	優良賞	2,125	3	54	久留米	堀内 潤一	優良賞	1,910	1
19	久留米	大石 信	優良賞	2,115	5	55	久留米	中尾 洋一	優良賞	1,905	2
20	久留米	倉重ファーム	優良賞	2,110	1	56	飯塚	楠木酪農松野竜大	優良賞	1,905	1
21	久留米	中野 繁利	優良賞	2,105	3	57	久留米	新栄ファーム	優良賞	1,900	1
22	久留米	大塚 豪	優良賞	2,105	2	58	久留米	吉田 政弘	優良賞	1,895	5
23	久留米	手柴 秀一	優良賞	2,100	5	59	久留米	安丸 富士男	優良賞	1,890	3
24	久留米	中村 博之	優良賞	2,090	10	60	福岡	長尾 正雄	優良賞	1,885	1
25	飯塚	木戸 健	優良賞	2,090	3	61	久留米	渡辺 和徳	優良賞	1,885	1
26	久留米	池田 健治	優良賞	2,085	1	62	福岡	重富 康則	優良賞	1,880	1
27	久留米	内堀 誠	優良賞	2,070	5	63	飯塚	大石 光晴	優良賞	1,880	1
28	久留米	岩下 寿秀	優良賞	2,065	10	64	福岡	今村 学	優良賞	1,835	3
29	福岡	笠 文彦	優良賞	2,065	2	65	福岡	有満 義之	優良賞	1,830	1
30	久留米	大塚 泰幸	優良賞	2,065	1	66	久留米	仲 弘律	優良賞	1,815	2
31	飯塚	松岡 茂	優良賞	2,050	1	67	飯塚	藤田 和英	優良賞	1,770	1
32	飯塚	鹿毛 利晴	優良賞	2,045	1	68	福岡	大原 登	優良賞	1,750	9
33	飯塚	村上 篤	優良賞	2,040	1	69	久留米	林 信隆	優良賞	1,730	1
34	久留米	鶴 広文	優良賞	2,035	1	70	久留米	秋吉 桂司朗	優良賞	1,700	1
35	久留米	内田 健二郎	優良賞	2,030	6	71	飯塚	藤原 和美	優良賞	1,685	1
36	久留米	羽野 浩	優良賞	2,030	2	72	久留米	椿 成弘	優良賞	1,655	5

定期検査（乳脂肪分・無脂固形分・体細胞数・細菌数）における年間ノーペナルティ者 72名（昨年度62名）

特別賞表彰者一覧表（10年連続ノーペナルティ組合員）

支所名	組合員略名	連続回数	支所名	組合員略名	連続回数
久留米	中村 博之	10	久留米	岩下 寿秀	10

定期検査（乳脂肪分・無脂固形分・体細胞数・細菌数）における10年間ノーペナルティ組合員

令和3年度 第1四半期の生乳生産状況

六月に組合員からの今年度生乳出荷目標数量の報告を積み上げた結果、昨年の実績数量を大きく上回る七三、一四〇トン（前年比一〇一・二％）となり、本組合における生乳出荷見込数量として九州生乳販売へ報告しました。

今年度も生産基盤強化・維持のため各種事業を実施しますので、目標数量達成に向けた取組をよろしく願います。

第一四半期の生乳生産状況は、廃業者等による飼養頭数の減少はありますが、生産状況は順調に推移し、六月までの生産状況は一八、九八九トンと対前年実績比一〇〇・〇％となりました。

また、前年と今年の廃業者を除く前年実績比は、一〇二・五％とクラスター事業の効果等もあり生産量が伸びています。

飼料情勢について、配合飼料の主原料であるトウモロコシは、中国を中心とした穀物需要の増加により急激に高騰し、令和二年度第四四半期以降、配合飼料安定基金補てん金が交付され、第一四半期においては、異常補てん金が発動される見込みです。また今後、米国産トウモロコシ生育の重要な時期に入りますが、天候によっては、更に高騰する厳しい状況にあります。流通粗飼料についても、海上運賃の値上げ、米国の

コロナ禍からの経済回復や日米金利差の拡大による円安基調により堅調に推移しています。新穀については、米国の干ばつによる影響やトウモロコシ価格高騰により生産者がトウモロコシへ転作するなど、生産量が不足する懸念があり相場は堅調傾向です。

このような飼料情勢を受け、組合は、全国連と連携し六月に流通粗飼料の特別対策を実施しました。また、七月以降暑熱期の生乳生産支援対策として、全国連と連携し輸入粗飼料や乾乳飼料、添加物などのキャンペーンを実施（九月まで）してまいります。今年も猛暑が心配されます。暑熱期の飼養管理には、万全を期していただき願います。

令和3年度 組合の生乳生産(第1・四半期)

単位=トン・%

支所	受託乳量	前年比	前年廃業除く対比
福岡支所計	5,608	99.1	104.1
久留米支所	10,338	101.3	102.2
飯塚支所計	3,042	97.1	100.4
組合合計	18,989	100.0	102.4

注) トン未満を四捨五入のため計が一致しないことがあります。

酪政連 福岡県支部連合会 第五十八回定時総会を開催

第五十八回の日本酪農政治連盟福岡県支部連合会定時総会が四月二十六日に開催されました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ふくおか県酪協本所と各支所間のWEB会議形式での開催とし、三支部より十七名（本人出席十六名、委任状一名）の代議員の出席のもと、第一号議案より第三号議案まで慎重審議のうえ原案通り可決決定されました。

なお、令和三年度の重点政策を指定団体機能の維持、酪農ヘルパー対策、家畜排泄物処理施設等対策、自然災害対策、家畜伝染病等対策、生産基盤強化・働き方改革等対策、自給飼料確保対策と決定しました。



「牛乳の日」ゴリけんとうまぶ！酪農家さんと牛乳オンラインセミナー」の開催

コロナ禍の中、対面での消費拡大活動の実施が難しい為、ふくおから酪農青年女性会議主催のオンラインイベントを六月一日牛乳の日に開催しました。ふくおから酪本所をメイン会場に各支所から酪農家さんも参加し、参加者の方と意見交換や父の日に乳を

贈ろうキャンペーンのPR、牛乳を使ったレシピの実演などを行いました。MCのゴリけんさんと楽しいトークと交えながら酪農や牛乳の栄養について伝えたり酪農理解醸成や消費拡大につながる有意義なイベントとなりました。



▲左からゴリけんさん、吉田裕康委員長



新人職員3名紹介

仲宗根 瑠奈

(久留米地区乳牛診療人工授精所)

4月1日より久留米診療所に配属になりました、獣医師の仲宗根瑠奈(なかそね るな)です。沖縄県出身で、神奈川県にある日本大学を卒業しました。大学では実験動物研究室で鳥類血液寄生原虫について研究していました。

念願だった牛の獣医師になることができ、不安半ば非常に嬉しく思います。まだまだ知識や経験が浅く、不慣れでご迷惑をおかけすることが多いかと思いますが、日々努力を怠らず精進して参りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願いします。



切木 裕太郎

(飯塚支所)

4月1日より飯塚支所に配属になりました切木 裕太郎(きりき ゆうたろう)です。切木という名前は珍しいと思います。祖先が伐株山で有名な大分県玖珠町で林業しておりそこに由来があるそうで、全国でも数十件しかないとのこと。趣味は旅行が好きで、大学では地理学を学んでいました。

酪農の知識は乏しく未経験の業界ですが、皆様のお力になれるよう日々邁進したいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



木村 哲也

(畜産支援牧場)

4月1日より囑託から職員として採用いただいた、畜産支援牧場所属の木村 哲也(きむら てつや)です。出身は山口県で、動物系の専門学校卒業後、肉牛や養鶏と畜産関係の仕事に従事して来ました。

今後も今まで経験して来たことを生かしつつ、業務の中で課題を見つけ日々努力していきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。



「頑張る酪農家紹介」

久留米支所

柏原 圭志郎さん(26才)

(経営者・柏原 福生さん)

まずは、牛舎の紹介から。久留米市の三瀬町にあるつなぎ二六頭牛舎（経産牛三五頭）で、祖父、祖母、母、自分の四人で作業をしています。周りは住宅に囲まれている立地ですので、そこに住む方々とのつながりの大切さを実感する日々です。



酪農を始めたきっかけは、祖父の働く姿をみて自分もやらなければと感じ、五年前に就農。戸惑いながらも誘いもあったので勉強の為に久留米青年部に入りました。就農して三年程は目の前の作業だけをしていましたが、同年代・諸先輩方と情報交換をするようになり、また、授精師・組合・業者の指導もあって、我が家の問題点

や、何を改良・改善すべきかを考えるようになりました。現在は、ウオーターカップの吐水量、暑熱対策、初回種付日数、育成牛のスペース問題などを改善していきたいと思っています。



また、人と話し合いをする中で現状をしっかりと把握し、言語化することが必要だと気づかされる事も多くありました。エサ、フン等の牛が出すサインを見逃さないように日々の記録をとり、それをだれが見てもわかりやすいように「アータの見える化」を進めていくことが大切だと感じています。これからまだまだ改良していきたい点が山積みな状態ですが、一歩一歩頑張っていきますので、皆さまご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いします。



酪農共済給付金のご請求、忘れていませんか??

ちょっとしたケガで病院に行ったことはありませんか? 事故や病気にあわれたらお気軽にご相談ください。

また、いつでも加入することができます。

お問い合わせは各支所まで。



例



病気で入院や手術をした



ケガで通院や入院・手術をした

バルククーラー室外機(コンデンサー)の点検を!!

生乳の初回投入1時間以内に10℃以下、
さらに1時間以内に4.4℃以下に冷却、
追加投入時10℃を超えていませんか？

夏を向かえ冷却能力が落ちる季節です。
バルククーラーを点検しましょう。



コンデンサーが目詰まりすると、冷却に時間がかかり、細菌数の増加や電気代アップにつながります。



ごみやほこりをエアブラシなどで取り除きましょう！また、定期的に点検を実施しましょう。

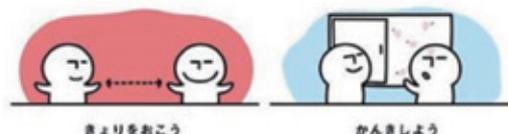
「令和3年夏ギフト」のご案内

ギフト受付期間：令和3年7月1日(木)～8月6日(金)

牛乳、乳製品消費拡大運動の一環として、本年度も夏ギフトを販売いたします。組合員、役職員の皆様ご協力の程、よろしくお願い致します。



新型コロナにならない うつさない!



引き続き、感染予防対策を徹底しましょう。

俳句・川柳コーナー

コロナ禍は

自ずと守る

おらが里

P.N. 甦る獅子





MOMOステーション

(ふくおか県酪農青年女性会議ニュース)

Vol.190

コロナ収束の願いをお花に込めて

福岡地区酪農女性部

皆さんこんにちは。福岡地区酪農女性部です。昨年からのコロナウイルスの拡大により、活動を自粛せざるを得ない状況が続いておりますね。今回、コロナ疲れを少しでも癒すことができるように、お花を配る事にしました。これから夏へと向かい、牛にも人にも厳しい季節がやってきます。

暑いなー、疲れたなーと思つたときにお花を見て少しでも癒され、元気になればと思つております。ワクチン接種が進み、収束に向かうようと思いを込めて、また皆さんと美味しい食事を頂きながら、気兼ねなくマスク無しでたくさんお話ができたらと思います。

皆さん感染予防を徹底しながら、もう少し頑張りましょう。



「体温を調節して涼しくドライ!!」

飯塚支所酪農青年部長 森田 清隆

皆様こんにちは。飯塚支所青年部は、現在一三名で活動しています。例年であれば、今年度も視察研修・北九州市農林水産祭り等の祭事への参加・バーンミーティングなどを予定していましたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響によりほとんどの活動ができない状況になっております。福岡県も感染者数が毎日のように増え、再三再四の緊急事態宣言も出ておりますが、未だ収束の兆しも見えていません。以前のような日々に戻ることを願っています。

さて、これから本格的に夏を迎え酪農家を悩ます時期になります。牛は暑さに弱く夏場の牛舎は暑熱対策が重要です。そこで、「牛の暑熱対策と共に人間も一緒に涼しくなり夏を乗り切ろう」ということでアンダーアーマーを総会記念品とし、青年部のメンバーに配布しました。アンダーアーマーは吸水性・速乾性に優れており、汗の臭いを抑えてくれる効果などがあります。これを着てこれから始まる本格的な夏を乗り切つて、青年部一丸となつて毎日の作業を頑張ります!!



診療所日記

福岡乳牛診療人工授精所

原岡 諒

はじめに

今年も厳しい夏がやってきました。夏の暑さによる牛への影響も大きくなってきたかと思えます。暑熱ストレスは、乳量の減少や乳成分の低下だけでなく、発情の微弱化や受胎率低下などの繁殖成績低下をもたらします。さらには各種疾病を発生させるなど、様々な悪影響によって経済的にも大きな損失を与えます。今回は、酪農業で大きな問題となる暑熱ストレスについて改めて紹介します。

人と乳牛の暑さの感じ方の違い

成乳牛（ホルスタイン種）の適温域はおよそ四〇〜二二℃で、最も快適な温度は三〜一八℃と報告されています。それ以上の気温になると暑熱ストレスを受けます。一方で牛が暑熱ストレスを感じはじめると二二℃といえど、ヒトだと涼しく感じる気温です。つまり牛舎内でヒトが涼しく感じていると、牛にとっては暑い場合があるということです。しかしながら暑熱対策をするべき時期でも、「まだ大丈夫!」と思つて十分な対策を取られていない方が多い印象を受けます。

暑々の評価

暑熱ストレスの指標として気温もかなり重要な要因なのですが、他にも湿度や風速等の様々な要因で暑熱ストレスの大きさが決まります。評価する指標として、気温と湿度を加味したT_H-I（不快指数）がよく使われています。T_H-Iの計算式は $T_{H-I} = 0.8 \times \text{気温} + (\text{相対湿度} / 100) \times (\text{気温} - 14.4) + 14.64$ となっております。T_H-Iが六八を超えると暑熱ストレスを受けていると報告されています。例えば、気温二二℃、湿度五〇%でT_H-Iは六八になります（まさか二二℃で暑熱ストレスを受けているとは!と驚かれることが多いです）。

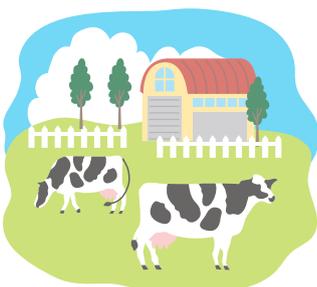
また、牛自身の体温温度も重要とされています。体温温度にも計算式があり、体温温度 = 気温マイナス六√風速（m/秒）となっております。例えば、風速が二m/秒のとき体温温度は約八.五℃低下します。

暑熱対策

多くの牛舎で暑熱対策として送風機を使用されていると思いますが、送風機には換気と送風の効果があり

最後に

今回は牛舎内の暑熱ストレスに焦点を当ててみました。すでにそれぞれの牛舎で暑熱対策をされていると思いますが、客観的な数字で暑熱ストレスの大きさを把握している方は少ないと思います。暑熱対策の一助として、今回紹介したT_H-Iや体温温度を調べてみてはいかがでしょうか。



専任指導員日記

専任指導員(飯塚支所駐在)

村岡 賢治

『換気扇掃除で風量アップ』

今年の夏も暑い…昨年の暑さの影響もあり、これから暑熱ストレスを受けた状態での乾乳、分娩を迎える牛が多いのではないのでしょうか…。(毎年のことですが)

前回のミルク情報誌に、『風通しのよい牛舎(職場)づくり』という記事が掲載されておりました。その中で三つのポイントがあり①牛舎内外の不要物を片付けること、②換気扇のホコリを落とすこと、③バルククーラーの室外機の風通しを良くすること。が書かれておりました。そこで今回は、②の換気扇のホコリを落とすことについて紹介します。

乳牛は、平均気温が二〜三℃を超えると採食量が減少し、乳量も低下してしまうと言われています。乳牛の健康と生産性を高めるためにも、暑熱対策は必須となっております。

そのために、ほとんどの牧場においては、1mほどの換気扇を設置されていますが、牛舎内の換気扇のプロペラや安全カバーに、ホコリが付着していると送風能力が低下してしまいます。そのため、定期的な掃除が

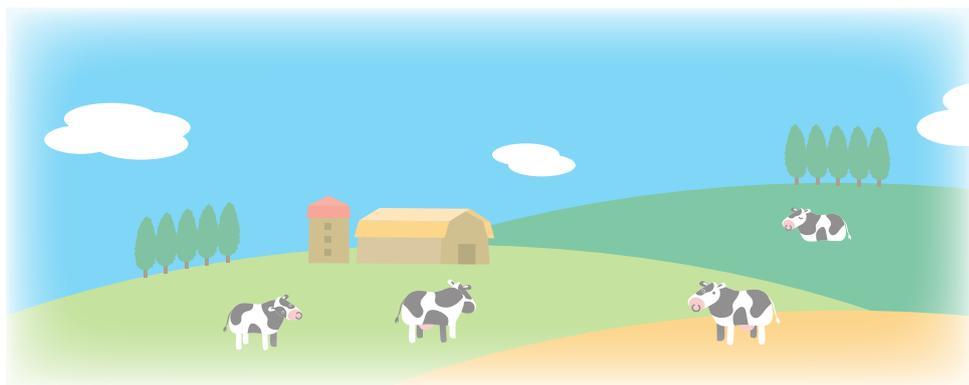
推奨されていますが、換気扇の台数が多かったり、高いところに設置してあったりと掃除は後回しになりがちではないでしょうか？

そこで、普及指導センターと共同で、掃除の有無によって風速に違いがあるのか、を調査してみました。その結果、『掃除あり』では『掃除なし』よりも、平均風速が、0.9m/秒強いことが明らかになりました(注:ホコリの付着状況や換気扇の台数・取付位置等でこの数値は異なります)。また掃除に要する時間は、ホコリの付着が多い場合でも七分/台ほどでした。

平均風速が0.9m/秒強くなるということは、乳牛の体感温度で五七℃下げることにつながります。そのため、換気扇の掃除は、非常に効果的な労働投資といつことが数字で示されたのではないのでしょうか。

掃除という労働投資は必要となりますが、金銭的投資は必要ありません。補助事業等を活用し、換気扇を増設することも大切な事ですが、既存の換気扇能力を元に戻してあげることも大切なことだと思います。

最後に、まだまだ暑い日が続きますが、組合員の皆様におかれましては、くれぐれも事故には気を付けていただくとともに、健康に十分ご留意下さいますようお願い申し上げます。



吉木 四郎

乳牛の飼養管理についての最近の研究報告

新型コロナウイルス感染の拡大に伴う三度目の緊急事態宣言により、多くの人々の社会生活が影響を受けていますが、酪農家の皆さんも元気がですか。厳しい経済環境の中でもしっかりと牛乳生産に頑張っている事と思います。

最近の経産牛の生乳生産量は、飼養管理の改善や遺伝的改良により、約八八〇kgまで増加しており、高能力牛の飼養管理には日々苦労されていることと思います。特に、分娩前後の飼養管理が重要と思いますが、乾乳期間に関する福岡県農林業総合試験場の新しい研究報告がありましたので、ご紹介します。

課題名…「乾乳期間の短縮がホルスタイン種泌乳牛の泌乳成績、分娩間隔および泌乳前期の栄養状態に及ぼす影響」

1 現状と問題点

日本飼養標準では推奨の乾乳期間は六〇日ですが、乾乳開始時でも高乳量を維持している個体が多く、無理な乾乳が体力に負担をかけることから、疾病のリスク増加が懸念されています。また、泌乳能力の向上に反して繁

殖成績は低下し、分娩間隔は長くなっています。このため、乾乳期間の短縮化による泌乳前期のエネルギーバランスや泌乳量への影響を調査し、繁殖成績の向上、分娩間隔の短縮化などの効果について検討しました。

2 材料および方法

(試験一)乳用牛群成績からみた乾乳期間の違いが乳量および分娩間隔に及ぼす影響

県内の牛群検定成績五七、四六四頭を解析し、乾乳期間三〇日の個体群(七七頭、以下短縮区)と六〇日の個体群(三、五六二頭、以下慣行区)を抽出し、産次別に乳量、分娩間隔を比較検討しました。

(試験二)乾乳期間の短縮が泌乳前期の乳量および栄養状態へ及ぼす影響

試験場内繁養の搾乳牛を用い、乾乳三〇日(短縮区)五頭、六〇日(慣行区)五頭を試験飼養して、分娩後二〇週まで乳量、栄養状態等を調査しました。

3 結果と考察

検定成績における産次別三〇五日乳量は短縮区が慣行区より明らかに少なくなっていました。短縮区の場合、乾乳前の乳期の最後に搾乳期間を

三〇日延長できることから、この期間の通算乳量を考慮すると、短縮区の乳量は慣行区と同等かそれ以上であることが判明しました。また、今回検定成績では、短縮区の出産間隔が四〜九日短くなっており、繁殖成績の改善も期待できました。

場内の試験飼養においても泌乳量は短縮区が明らかに減少しましたが、反面、TDN充足率、BCS(ボディコンディションスコア)、体重、血液生化学性状等の栄養状態が改善されたことが明らかになりました。

日本飼養標準では四週までの乾乳前期は粗飼料主体で飼養し、その後、後期は高エネルギー飼料で飼養することを推奨していますが、今回の試験では、三〇日間の乾乳期間は後期飼料で実施したことから、給与飼料を単純化するメリットも認められました。

以上のことをまとめると、乾乳期間を三〇日に短縮すると、乳生産量を低下させずに繁殖成績の向上効果が期待できることとなります。

検定成績からも既に短縮している方もいるようですし、この成果を活用してみても如何でしょうか。

暑中お見舞い申し上げます

監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代表理事常務	副組合長理事	代表理事組合長
武井進	高田守	吉田政弘	石橋義則	小島興人	中島清	濱崎留久	鶴田信行	古藤政則	江藤秀樹	草場哲治

デラバル(株)福岡営業所	西日本オリオン(株)福岡営業所	(株)西酪運輸	福酪運輸(株)	オーム乳業(株)	雪印メグミルク(株)福岡工場	ニシラク乳業(株)	ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)	JA全農西日本酪農事業所	全畜連福岡支所	全酪連福岡支所
(株)デーリィ・ジャパン社	ビタコーゲンの(株)セイワ	MPアグロ(株)	日本全薬工業(株)	(株)サン・ダイコー	カネコ種苗(株)熊本支店	雪印種苗(株)熊本営業所	(株)野澤組九州営業所	(株)土谷特殊農機具製作所	藤樹運搬機工業(株)	中央乳機(株)

売ります! For sale

- コンプリートミキサー
CS ドリーム(ORION)
DM-800SL(レール式)
平成16年式/8立米
40万円
昨年春まで使用。駆動問題なし。
刃とタンク部分が要点検交換。



買います!

- バキュームカー

本件に関するお問合せは
各支所まで
※掲載ご希望の方はご連絡
ください。

人事異動

I. 退職(4月30日付)

氏名	旧所属	備考
吉田 一海	久留米支所	依願退職

II. 退職(6月30日付)

氏名	所属	備考
井 寄 智次郎	久留米地区乳牛診療人工授精所	依願退職
山 下 千 秋	福岡乳牛診療人工授精所	嘱託契約満了
中 村 恵美子	福岡乳牛診療人工授精所	臨時契約満了